

# 明日の EXECUTIVE 2025



国際総合学類紹介誌「明日のEXECUTIVE」  
2025年度版

発行：筑波大学社会・国際学群国際総合学類

発効日：2025年3月1日

編集責任者：柏木健一

編集：国際総合学類

外山文子

熊倉玄騎 沢登真希

田島梨々夏 中山太雅

〔国際総合学類へのお問い合わせ〕

国際総合学類事務室 Tel：029-853-6010

筑波大学  
社会・国際学群  
国際総合学類





# 01 学類長挨拶

Kashiwagi Kenichi

柏木 健一

社会・国際学群 国際総合学類 学類長

## CONTENTS

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 01 学類長挨拶              | 01 |
| 02 カリキュラム紹介           | 03 |
| 03 分野紹介               | 05 |
| 04 教員紹介               | 07 |
| 05 留学体験記              | 13 |
| 06 ボランティア・インターンシップ体験記 | 15 |
| 07 OB・OG からのメッセージ     | 17 |
| 08 学生紹介               | 19 |
| 09 Campus Life        | 27 |
| 10 Abroad             | 29 |

3 K 棟

国際総合学類

College of International Studies

第20期卒業生寄贈

### 国際人の育成

私たちが住む日本では、失われた20年または30年といわれるように、バブル崩壊後経済の低成長が続いており、少子高齢化そして超高齢化社会を迎える中、国家財政的にも政策的にも国内問題への取り組みが重視されています。人口減少下で国内経済が収縮する今日では、私たちが目を向けるべきことは、遠くの国際社会の出来事よりも身近な国内の問題であるのかもしれませんが。

しかし、世界を広く見渡せば、国際社会は実に様々な問題を抱えており、国際情勢は先行き不透明です。東アジアでは中国の台頭によって米中・日中関係が緊張しており、米軍撤退後のアフガニスタンではイスラーム主義組織が実権を握り、先進諸国でも保守主義やナショナリズムへの傾倒が見受けられ、権威主義体制の復活や民主主義の後退が世界各地で生じています。特に、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、戦後築かれてきた国家主権や人権といった国際規範を大きく揺るがす事態となっています。また、ウィズコロナ下での景気回復やウクライナ危機によってエネルギーや食糧の価格が世界的に高騰し、経済活動のグローバル化による相互依存関係の脆弱性が露呈しています。近年、大雨や洪水、干ばつが局地的に頻発しており、気候変動による影響が各地で生じている可能性も否定できません。SDGs（持続可能な開発目標）の達成が国際社会の共通目標とされていますが、人間開発や社会開発に関わる課題は山積しています。このように複雑かつ予測不可能な国際社会の変化に、私たちはどのように対応したらよいのでしょうか。自由や民主主義、人権、法の支配といった普遍的価値の共有がこれまで以上に必要とされる中、国際社会の安定と発展のために何が課題となるのでしょうか。グローバル化によって国内問題も国際問題と無関係でなくなっている中、ローカルな社会や人間はどこに向かうのでしょうか。感染症、貧困、所得格差、気候変動、紛争、差別、自由貿易、規制緩和、情報の氾濫など、目を向けるべき国際社会の諸問題は無数にあり、相互に複雑に絡み合っています。

国際総合学類は、これらの問題を含む現代社会の諸課題に対し、グローバル、ローカル双方の視点から深い洞察力と分析力を身につけ、豊かなコミュニケーション力を通じて先見性と独自性に富む解決策を提示できる「国際人」の育成を目指しています。ナショナリズムや自国優先主義、保守化や内向き思考は、日本だけでなく世界的な傾向であるかもしれません。ただし、このような時代であるからこそ、グローバルな視野を持った国際人の育成は大学の重要な使命といえるでしょう。

### 国際総合学類での学び

国際総合学類には国際関係学と国際開発学の2つの主専攻があります。さらにその2つを横断する形で、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境という文と理にまたがる4つの分野が存在しています。これら

4分野の科目群を広く学び、その上で1つの専門分野を深く追求することになります。

#### (1) 分析力

日々激動する国際情勢を読み解くには、確かな分析能力が必要です。国際総合学類はこの能力が身につくようなカリキュラムを用意しています。政治学の理論や政策決定のプロセス、経済動向、またはその背景にある文化等を学ぶことで世界の変化を定性的に理解できるようにすると同時に、統計学やデータ分析の授業で数値による定量的な分析能力を養成します。さらにフィールドワークの授業も設置されており、どう分析するのかを実践を通して学ぶことが可能です。

#### (2) コミュニケーション力

国際総合学類では3分の1近くの授業が英語で行われています。これは単純に英語を重視するというよりも、異なる文化背景による異なる言語上での他者とのコミュニケーション能力を培うためです。その中にはディスカッションやプレゼンテーションが中心のものやディベートの授業もあり、留学生・日本人学生双方がこの能力を育てられるように設置されています。また、国際総合学類が属する社会・国際学群には、社会国際教育プログラム（略称TISS）という全科目英語による留学生向けプログラムがあり、日本人学生も同プログラムの科目を履修することが可能です。

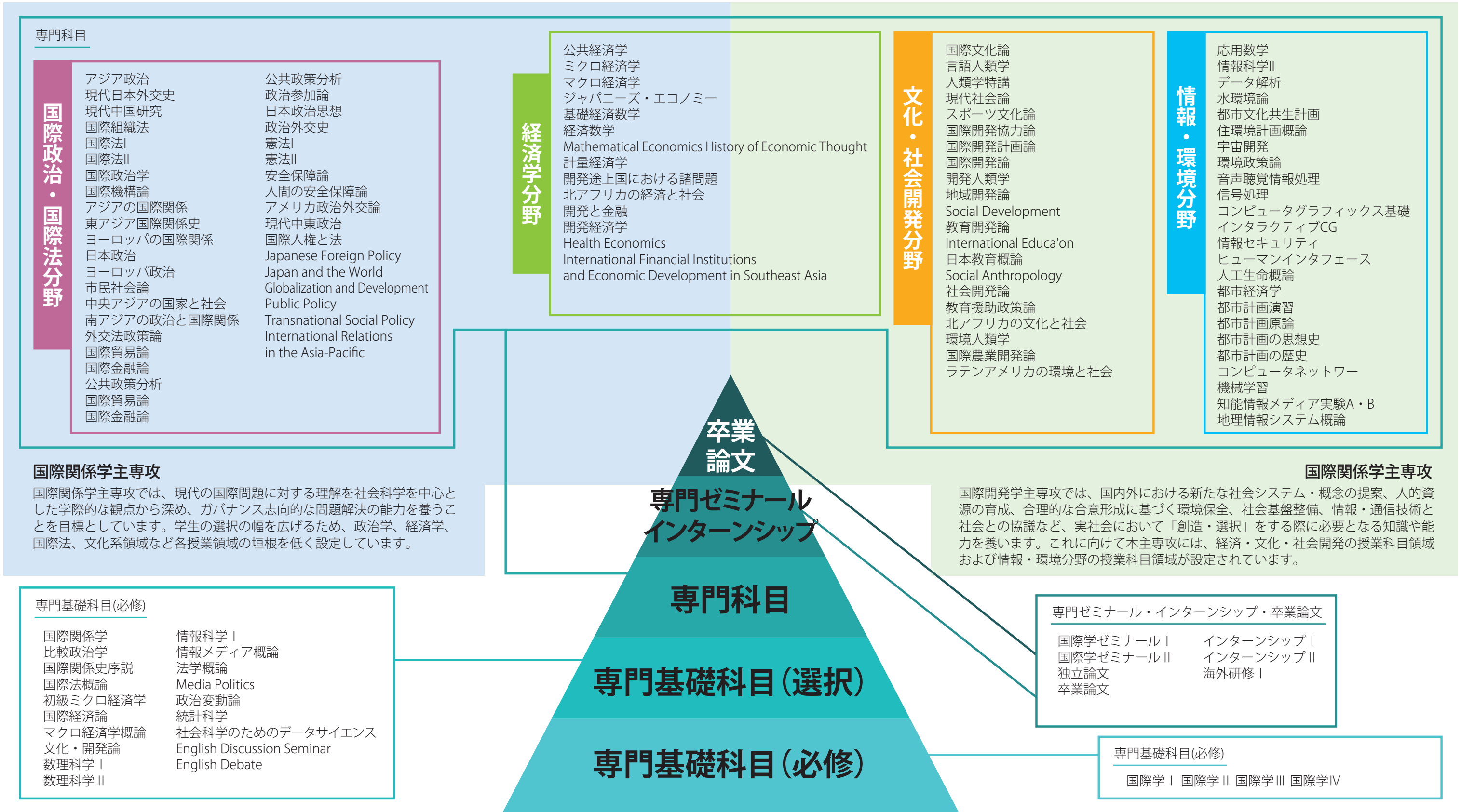
#### (3) 総合能力

分析力、コミュニケーション力を培った上で最後はそれらを動員し、問題をより高い視点から一つの考察へまとめ上げることが大切です。国際総合学類には独立論文というユニークな制度があります。通常、すべての学生は3年次から専門ゼミに所属し研究を進めていくことになります。そして3年次末に独立論文を執筆し、専門分野に関する研究の中途段階における成長発表の機会としています。これは、個々の研究の土台であり、学生が長いスパンの中で一つの研究テーマを掘り下げ、研究により深みを持たせるためのものです。これらは4年次でさらに探究され体系化されて最終的には卒業論文（必修）としてまとめられます。様々な授業を通して培った総合的な力を専門性につなげる学びを、国際総合学類は推進します。

国際総合学類は独創性と洞察力を有し、国際社会及びそれと連動するローカル社会の繁栄と発展に寄与できる人材の育成を目指していますが、それを実現するには教員側の努力はもちろんのこと、学生の主体的な取り組みも不可欠です。国際社会の諸問題をどう見るのか、それらの問題の解決に向けて現在の自分は何をすべきかを真剣に考えながら、学問に精進し、その上、国内外において実践的な活動に励む、それが国際総合学類生（「国際生」）の姿です。このような国際生（4年生）たちによって企画・編集されている本誌をぜひ紐解いていただきたいと思います。



02 カリキュラム紹介





## 国際政治・国際法分野

回答者：荒井凜子

### ・国際総合学類を選んだ理由

幅広い分野の学問を学ぶことができて、かつそれぞれの領域の垣根が低く設定されているために、「自分が本当にやりたい勉強」を見つけられると考えたからです。私は中学・高校時代に競技ディベートに熱中していたので、社会的なテーマについて多角的な視点から向き合う機会が多く、その中で自然と、法学や政治学、社会学に興味を抱くようになりました。学群を同じくする社会学類とどちらを選ぶべきか迷いましたが、好奇心旺盛な性格から、1つの分野に専門を絞って重点的に学ぶというよりも、より広く学際的に学べる環境が自分に合っていると考え、国際総合学類を選びました。

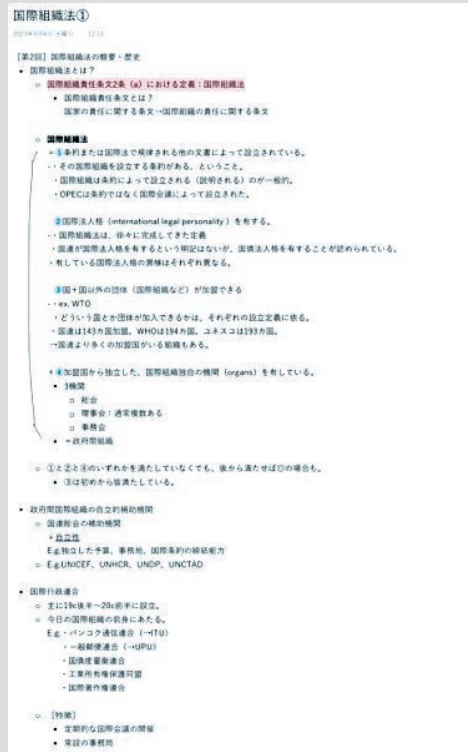
### ・国際政治・国際法分野を選んだ理由

1番の決め手は、「授業が面白かったから」です！1,2年生の時に、4分野の授業をできるだけ満遍なく履修し、自分が何に心惹かれるのかを探ってみました。国際総合学類では多種多様な授業が開設されているので、せっかくなら全ての分野に触れてから決めたいと思ったんです。その結果、自分がわくわくしながら取り組めて、成績も良かったのが国際政治・国際法分野だったので、「この分野が自分に1番合っているんだな」と実感し、選択しました。

### ・ゼミでどのようなことに取り組んでいるのか

ゼミでは、国際法を学んでいます。初回は、カント『永遠平和のために』、ユゴー『レ・ミゼラブル』などの哲学書や文学作品を通じて、国際法が生まれたヨーロッパの歴史・思想や、思考方法を入門的に学習しました。通常時のゼミは、基本的に個人の研究報告をメインとして進行し、様々な国際法分野の学びを深めることができます。私は、子どもの人権と教育に関する研究や、故郷である福島原発関連問題と環境法の研究等を行っています。時折、社会でご活躍されているOB・OGの皆さんが講演を開いてくださることもあるため、様々な体験談や教訓をお聞きすることもでき、貴重な学びの時間となっています。

・授業のノートを見せてください！



## 経済学分野

回答者：鷲谷俊威

### ・国際総合学類を選んだ理由

「英語を学ぶ」も「英語で学ぶ」もできるからです。英語そのものを学ぶだけでなく、政治、文化、経済、情報といった様々な分野を英語で学べるところに興味を惹かれましたし、ここなら自分が世界で活躍できる人になれると思いました。

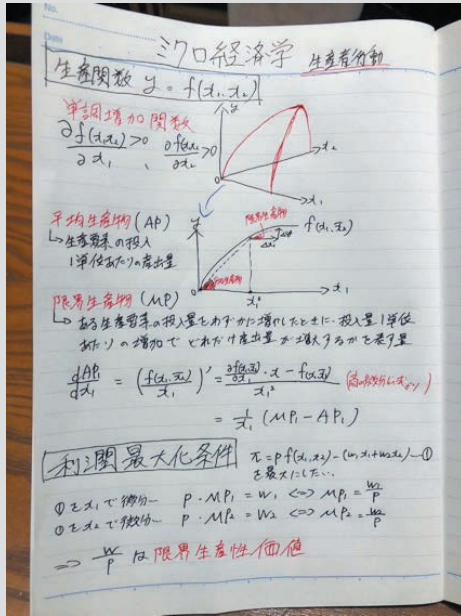
### ・社会・開発分野に進んだ理由

高校時代に「一体何の役に立つんだ」と思っていた数学が、経済・社会の構造を理解するための重要なツールであることを、経済学の授業の中で知り、衝撃を受けたとともに感動したからです。それからは、もっと役に立つ数学を知りたい、という興味が湧き、この分野を選びました。

### ・ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

私は所属している内藤ゼミで、経済現象のしくみを紐解いていくためのデータサイエンスを学んでいます。経済学・統計学を論文を通じて学び、学んだことを活用して自分たちでデータの分析をし、世の中についての新たな発見をしていきます。私自身は、人間の経済活動が環境にどのような影響を与えるのか、衛星データを用いて研究しています。

・授業のノートを見せてください！



### 『ミクロ経済学』

経済理論の基本となる初級～中級ミクロ経済理論を講義する。競争市場における消費者・生産者の理論、部分均衡、一般均衡、そして市場の失敗をカバーする。



## 文化・社会開発分野

回答者：関 瞳美

### ・国際総合学類を選んだ理由

もともと英語の勉強が好きで、英語学を専攻できる大学に行こうかと考えていました。しかし、英語自体を学ぶのではなく、英語を使ってもっと広く世界のことを学んでみたいと考えるようになり、国際総合学類を志望しました。

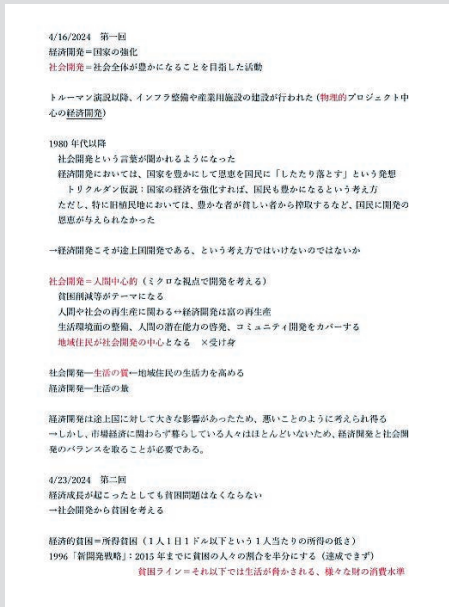
### ・社会・開発分野に進んだ理由

大学に入る前から、世界の文化に漠然とした興味がありました。そのため、他学類も含め「文化」と名の付く授業を受けていったところ、観光人類学がテーマの講義の中であった「観光地で見ている現地の文化は、観光客に合わせられたものかもしれない」という話に興味を持ちました。観光人類学は文化人類学の一分野であるため、文化人類学の研究が出来るこの分野に進みました。

### ・ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

ゼミでは、文化人類学の文献の輪読や、論文の構想発表を行っています。その中で、基本的な概念の確認や、実体験を踏まえた議論を行っています。私は現在、観光が地域に与える影響について、特にオーバーツーリズムに焦点を当てて独立論文を執筆しており、来年度はこれを踏まえて途上国における観光開発について研究していきたいと考えています。

・授業のノートを見せてください！



### 『開発人類学』

途上国開発における中心的概念とされている「持続可能な開発」(SDGs)を地域文化や、文化的現象としての人間の感情の視点から考察し、「開発」「援助」の向かうべき方向性等を論じる



## 情報・環境分野

回答者：橋本 夏央子

### ・国際総合学類を選んだ理由 / 情報・環境分野を選んだ理由

情報学群と強い繋がりを持つ国際系の学類であるため、志望した。情報分野に興味があり、また英語が好きだったので、グローバル的思考力を授業で培いながら、情報系のゼミ・研究室に所属することができる国際総合学類を選択した。

### ・ゼミでどのようなことに取り組んでいますか？

ゼミでは、情報学群の学生や院生、准教授と毎週1回のゼミと、毒論発表のために確率的プログラミングの応用を学習しています。

・授業のノートを見せてください！







国際政治・国際法分野

International Politics and Laws

政治学系と国際法学系の科目を中心に、社会学類開設の憲法や行政学等を共通科目とすることで履修科目の充実を図り、国際社会の多様化、高度化、グローバル化に対応して、幅広い分野における調査、分析、政策立案などの高度な実践能力を有し、日本国内だけでなく国際社会においても指導的役割を果たすことができる人材養成を目的としています。

潘 亮

Pan Liang

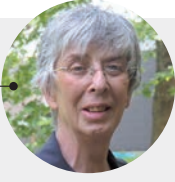


①日本外交史。一枚一枚の資料を通して遠い過去と遠い将来の間に位置する現在の国際社会の諸問題とその意義をじっくりと観察・思索しながら、時代の躍動感を「静かに」満喫する機会に恵まれる分野です。

②大学を単なる問題解決の方法を習得するための場所としてではなく、問題を発見する方法、そして問題に立ち向かう姿勢を学ぶ場所として活用していただきたいと思います。

レスリー タック川崎

Leslie Tkach-Kawasaki



①Political communication, especially through the Internet, has many dimensions, such as policy- or election-related communication. Media formats have changed greatly since the introduction of the Internet. I am keenly interested in studying these types of communication formats through various online channels.

②University life offers great opportunities to discover your unique talents and contributions to society. We are happy to help you fulfill your dreams!

東野 篤子

Higashino Atsuko



①現代ヨーロッパの国際関係。欧州連合（EU）を中心としたヨーロッパの国際関係を学んでいます。ユーロ危機、ノーベル平和賞、トルコの加盟交渉の行方、ウクライナなどの周辺諸国の危機など、悲観的要素と楽観的要素が常に交錯するEUから、片時も目が離せません。

②たくさんの本を読み、貪欲に学んでください。

毛利 亜樹

Mouri Aki



①現代中国研究、インド太平洋地域の国際関係。  
特にこの10年で大きな変化が生じているが、依然として日本の貢献が極めて重要であるところ。

②もうダメだと思ってからさらに努力しましょう、お互いに。

大友 貴史

Ohtomo Takafumi



①国際政治理論、国際安全保障、同盟。

②Critical thinkingを大切に。

大倉 沙江

Okura Sae



①政治学、市民社会論、利益集団論、ジェンダー論。日本の福祉政策・女性政策はどのように変化しつつあるのか、またそれに圧力団体（女性団体や障害者団体と呼ばれる団体）がどのような影響を与えているのか分析し、より社会的に脆弱な立場に立たされている人々の意見が政策に反映される条件について考えています。

②本を読み、自分でデータを集め、分析するという訓練を通して、多様な価値観がある社会の中でも自分の人生の基盤となる考え方や価値観と一緒に身につけましょう。

茅根 由佳

Kayane Yuka



①東南アジア政治。特にインドネシア政治を中心に研究しています。体制変動や民主化に伴う地域独自のダイナミズムの究明に研究の面白さがあります。

②積極的に海外に出て多様な価値観を学んでください。

外山 文子

Toyama Ayako



①タイ政治、比較政治学。タイでは過去19回もの軍事クーデターが起きています。経済は順調に成長したものの、政治はなかなか民主化しないタイ政治は、奥深くて興味が尽きません。

②好奇心を持って、楽しみながら勉強できるといいですね。

佐藤 麻理絵

Sato Marie



①中東地域研究、難民研究、現代ヨルダン政治。中東は難民問題の震源地であり、政治的・社会的変動が絶えず続いている地域です。変革の途上にある中東地域（さらにはイスラム世界）は尽きない魅力で溢れており、多様な角度・視点から考察し分析する醍醐味があります。

②大学は知的好奇心追求の場です。たくさんの疑問を自らの意思と行動で、思う存分追求して下さい。また、疑問を抱いた対象の普遍性や自明性についてを問う姿勢も大切に。

日高 薫

Hidaka Kaoru



①国際政治学、安全保障、軍縮不拡散、政軍関係。安全保障をめぐる様々な政治現象を説明するための理論的研究をしています。理論は「学ぶ」のも「使う」のも面白いですが、一番は自分で「作る」ことだと思います。良い仮説を思いついたときの知的興奮（と、それが間違っていることに気づいたときの悔しさ）に日々翻弄されています。

②食わず嫌いせず、色々な分野の知見に触れてみてください。

S. Zia E. MADANI



①Position and Affiliation: Assistant Professor of International Law, Institute of Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba  
Research field: International Law, Environmental Law, Polar Law-Science-Policy, Arctic Law & Governance, Antarctic Law & Governance, Climate Change Governance, Systems-thinking in international law  
what is interesting about my research field:In my research, I get to study some of the most exotic and fascinating places on the planet; including for example, the polar regions. In addition, my research focuses on bridging the gap between scientific advancements and the creation of science-informed laws and policies to address global environmental and sustainability challenges. I feel I am very lucky to have had the opportunity to research these intriguing yet significant areas.

②As an Assistant Professor of International Law, my research focuses on areas that are as challenging as they are fascinating: International Environmental Law, International Humanitarian Law, Polar Law-Science-Policy, Arctic and Antarctic Law and Governance, and Climate Change Governance. One of the most exciting aspects of my work is that I get to study some of the most exotic and remarkable places on Earth, including the polar regions—places that many people only dream of exploring! My research is about more than just studying these regions; it’s about connecting the dots between scientific discoveries and the creation of laws and policies that can make a real difference in protecting our planet. I focus on finding ways to turn scientific knowledge into practical, science-informed laws and policies that help address the global environmental challenges we face today. I consider myself very fortunate to work in these intriguing and essential fields. I hope that my passion for protecting these unique environments will inspire you to think about how you, too, can contribute to solving some of the world's most pressing challenges.





### 経済学分野

Economics

変化する経済のグローバル化と企業活動の多国籍化、地球規模の環境問題、先進国で急激に進む高齢化・少子化、経済成長の国際不均衡、発展途上国における慢性的貧困問題等の現代の経済問題を分析し、解決策を提案できる人材、あるいは様々な企業・政府活動において自分自身の行動の羅針盤となる経済知識を持つ人材の養成を目的としています。

### MOGES Abu Girma



①Economic Policy and Poverty Analysis. The field of economic policy and poverty analysis blends both the theory and practical applications to solve some of the most pressing economic challenges of our time. Such a field of research appeals to me as it helps to identify reform areas to improve the life of millions of people.

②We live in a brave world that requires recurrent adjustment and vision. As the young generation, open yourself to the world and enjoy the challenge of shaping the new world of tomorrow.



### 文化・社会開発分野

Culture and Social Development

国際舞台を目指す学生に現代社会で生起する諸現象を文化の側面からアプローチする視点を定着させると共に、西洋中心の近代的価値観や諸制度を所与のものとすることなく、人間の文化の多様性を認識・尊重しつつ、異文化空間における広い意味での「対話(コミュニケーション)」を国際舞台で実践する事のできる人材の養成を目的としています。

### 寺内 大左



Terauchi Daisuke

①研究分野：環境人類学／環境社会学。  
研究分野の面白さ：同じ環境でも人や社会によって見方や価値のおき方が異なり、かかわり方も異なる。世界の多様な人々・社会による多様な環境の見方、価値のおき方、かかわり方を学び、よりよい環境と社会の関係／よりよい環境をめぐる人と人の関係を考えることは、これからの時代とても大事なことだと思っています。

②「物事の見方が変わり、考え方が変わり、行動が変わる」。そんな学びをしてもらいたいです。

### 柏木 健一



Kashiwagi Kenichi

①開発経済学、中東・北アフリカ経済研究。現代中東・北アフリカの地政学的特性や歴史背景、社会制度を踏まえて、現地の農家や小規模産業の経済行動をマイクロデータを用いて実証的に分析し、産業発展や技術革新、雇用創出に生かそうと研究しています。現地のフィールドから経世済民を考えることに研究の面白さがあります。

②文系理系の枠にとらわれず、幅の広い視野を持ち、知的好奇心を常に磨きましょう。学生時代に広めた見聞や深めた知識は将来の貴重な財産です。グローバルな課題を抱える世界に目を向けましょう。

### Fatwa Ramdani



① Applied Geographical Information Science (GIS) for Economics and Social Studies. Applied GIS can unfold something unseen and intangible. We can explore the world and answer modern issues faced by modern society using cutting-edge technology, such as space-borne sensors, unoccupied aerial vehicles (UAV), and cloud-computing platforms. Supported by a visualization approach, makes it easier to communicate the solutions to broader stakeholders.

②In my class, under my supervision, and in the seminar, failure, and mistakes are expected, respected, and corrected. Don't be afraid to explore and do your curiosity. Because the foundation of science and innovation is curiosity. Let's protect and explore our world together!

### 関根 久雄



Sekine Hisao

①文化人類学、地域開発論、オセアニア島嶼研究。当たり前を疑い、現象の内側に隠れている意味を明らかにすること。

②大学受験や将来の進路など、悩ましいことばかりの日々かもしれません。多少遠回りになっても、自分にはハードルが高いと思ってしまうようなことであっても、後悔しない挑戦をしてください。それはきっと、あとになって何ものにも代え難い財産となって返ってくるはずです。

### 柴田 政子



Shibata Masako

①教育社会史、歴史教育、比較教育。比較教育学：国際的な視点で、社会が変化する過程で教育が果たす役割を考えること。

②夢を追ってください。多様な生き方が受け入れられるようになった社会で、自分の感性を磨き信じて人生を歩み進んでください。

### 黒川 義教



Kurokawa Yoshinori

①国際貿易論、産業組織論、マクロ経済学、日本経済論。普段当たり前のように耳にしている議論が、実は、単純な経済学を使ってみると、根拠のない議論であったと分かる時があります。それは経済学を学ぶ上で味わえる面白さの一つではないでしょうか。

②常に今何がプライオリティなのかを見失わないように気を付けてほしいと思います。また、短期でも海外留学することを勧めています。「日本（出身国）から来た誰々さん」というだけの裸の自分になれて楽になれます。

### 井出 里咲子



Ide Risako

①言語人類学、語用論、社会言語学、ことばと文化からひも解く人間社会の理解。地域：アメリカと日本、過去には韓国も。

②勇気と好奇心を胸に、いろいろな人と出会い、様々な景色を見て、複眼思考を身に付けてください。

### 藤澤 奈都穂



Fujisawa Natsuho

①ラテンアメリカ地域研究、熱帯農村研究、アグロフォレストリー研究、熱帯林保全論  
地域が変わると環境も人も文化も変わり、その地域特有の森林管理や農業が見られます。  
それらの地域の独自性を、研究を通してグローバルな価値に繋げ、多様性を認め合う社会を目指していくことに面白みを感じています。

②迷ったらやってみる、が良いと思います！

### 中野 優子



Nakano Yuko

①開発経済学。発展途上国の人々がどのように貧困から抜け出せるかを研究しています。アフリカ農家に話を聞いて得たデータを分析し、所得向上のための方策を途上国政府、援助関係者や農家の方々と共有できることがやりがいです。

②大学では論理的な思考能力と、自らが生きる社会を相対視する力を養ってもらいたいと思っています。大学の勉強は「知的なときどき」に満ち溢れています。たくさん勉強して、いろいろな経験をして、悩んで、何か一つ、「これだ!」と思えるものを見つけてください。

### 松島 みどり



Matsushima Midori

①公共政策・国際保健医療・インパクト評価。特に、政策のデザインや実施方法に人がどのように反応するか、そしてどうすれば、より効果的な政策が実施できるのかを定量的に研究しています。現実社会に直結した問題を研究できるといった点が気に入っています。また、人々の行動について研究をしていると、自分がいかに人間の行動に無知であるかがわかり面白いです。

②心から楽しいと思える人生を、自分のために、自分の幸せに責任をもって歩んでください。





情報・環境分野

Information and Environment

ITの発展は目覚ましく、国際舞台での活躍を目指す学生にとって必須になるものであり、また、環境・資源問題が深刻さを増し、地球規模での取り組みが必要になっています。基礎的素養として情報リテラシー、深い洞察力・分析能力を身につけさせ、さらに情報・環境分野での専門性を深め、国際舞台で活躍できる文工融合型技術者の養成を目的としています。

奥島 真一郎

Okushima Shinichiro



①環境経済学、エネルギー経済学、政策分析。環境やエネルギーに関する問題について、主に経済学的な視点から分析しています。「市場」や「マネー」という手段を「人間」や「環境」という目的(善)にどのように結び付けていけばよいのか、日々考えています。

②大学生になったら、専門的知識だけでなく教養を、また「自ら学ぶ習慣」を是非身につけてください。

鈴木 大三

Suzuki Taizo



①多知覚メディア処理。多くの情報メディア技術を支える「信号処理」や「画像・映像処理」を基盤とした研究を行っています。たとえば携帯電話や地デジTV放送にも、そのノウハウがギッシリ詰まっています。

②世界の変化と共に、様々な情報メディア技術も日々進化を続けています。単に国際関係の知識を有するだけでなく、情報メディア技術の知識やそれを扱う方法を身につければ、世界における活躍の場がさらに拓けます。

高橋 伸

Takahashi Shin



①ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI)。コンピュータと人とのかわりあいという面から、よりよいコンピュータシステムを探っています。情報科学、数学、社会学、心理学、人類学、哲学、など理系文系にわたって多くの分野にかかわる学際的な研究分野です。

②国際総合学類はいろいろな分野の教員がいて、幅広いものの見方を学べる学類です。情報科学やHCIも少しかじっておくと将来何かの役に立つかもしれません。

白川 直樹

Shirakawa Naoki



①研究分野の名称及び研究分野の面白さ 河川工学（水環境、水防災、水資源）川は理系的な研究対象にもなれば文系的な研究対象にもなります。自分の好きな角度から、あるいは得意な方法を使って研究していくことができますし、さまざまな分野に興味を広げられます。研究対象として果てしがなく、いろいろな側面から人の役に立てるところが魅力です。

②高校生に向けて一言メッセージ 高校1年生からの10年間を人生における鍛錬期とするなら、大学はその中間過程に位置します。目先のことにとらわれず、長く成長し続けられる人間を目指しましょう。

亀山 啓輔

Kameyama Keisuke



①情報工学、特にパターン認識とメディア処理。五感から入ってくる刺激を学習に基づきカテゴリ分けし、さらなる状況判断に活用する、人間が持つ知的能力をコンピュータで実現することをめざす研究分野です。昨今、いくつかの応用に対してはコンピュータが人間を越えたとも言われますが、まだまだ人間をはじめとする生物、自然に学ぶことは少なくありません。

②自分が思い描いているゴールを実現するためには、自分にどのような能力が必要なのかを真剣に考え、時間を無駄にせず着実に前進してください。

Simona VASILACHE



①Computer science/Software engineering. Computers represent this wonderful world that we so often depend on. However, they are very obedient, they do what we tell them to do. Learning how to make computers listen to us and work for us is interesting and cool!

②Do not be afraid to follow your dreams, to try new things. This is the time to find out what you love and pursue your passion, no matter what! Study hard, learn about the world around you, travel, read many books and make many friends!

松原 康介

Matsubara Kosuke



①多文化共生の都市計画。中東・北アフリカ地域の都市計画。

②留学を通じて心身共に鍛えましょう！





## ここが私のアナザースカイ — マレーシア —

マレーシア マレーシア科学大学

森岡 悠雅

Morioka Yuga



僕は2023年の10月から半年間マレーシア科学大学に留学していました。留学は小さい時からの夢であり、何より英語を使って海外で生活してみたいと思っていました。そのため、中学生の頃から外国人を見つけると話しかけに行っていました。筑波大には数多くの国と地域からたくさんの留学生が来ています。そこで英語で開設されている授業に挑戦してみたり、スチューデントサポートセンターが開いているイベントに参加したりして留学生の友だをたくさん作りました。仲良くなった友だとはいろいろな場所を旅行しました。旅行を通じて友達の出身国についても知ることができ、英語のトレーニングにもなりました。

ではそろそろ、マレーシアの話をしていきましょう。私が留学先にマレーシアを選んだ理由は二つあります。一つ目はマレー語に加えて英語も公用語に含まれているからです。普段から英語の練習ができ、生活する上で基本的に会話に苦労しません。二つ目は、民族に多様性があるからです。基本的にはマレー人、中国系、インド系で構成され、その他さまざまなルーツを持った人がいます。そして使われている言語もその民族によってさまざまなのです。僕はマレーシアに来る前に中華系マレーシア人やインド系マレー人もお互いにマレー語で会話すると思っていました。しかし、

中華系マレー人は中国語で、インド系マレー人はタミル語で話しているのを知り、言語の多様性が豊富でいいなと思いました。また、民族が多様なため、食べ物も種類がたくさんあり、さまざまなものを一つの国でトライすることができます。マレーシアに来てマレーシアの教育システムについても個人的に友だに聞いたり、調べたりしています。マレーシアでは、幼稚園児の頃から英語を勉強し始めると聞き、マレー人が英語を話せる理由が分かりました。また、マレー人同士で話すときはマレー語と英語をミックスして話すので部分的に彼らの会話を理解することができます。私は学校の2人1部屋の寮に住んでおり、ルームメイトはドイツ人の母とカナダ人の父を親に持つ学生です。そのため、毎日英語を鍛えることができ、留学初期と比べて英語が上達したのを実感します。

筑波に戻ってからは、留学を他の皆さんにも経験していただきたいので、留学の良さを伝えていこうと思います。今後は、英語を話せることを生かしてより多くの留学生と交流し、英語を学ぶという段階から使うという段階にステップアップしていきます。

## 憧れのヨーロッパへの長期留学

ドイツ ケルン大学

星野 文香

Hoshino Ayaka



私は2023年9月から2024年8月までの12カ月間、ドイツ連邦共和国のケルン大学に交換留学しました。ケルンは大聖堂がシンボルの西ドイツにおける主要都市です。街の中心部は栄えていますが、大学のキャンパス付近は緑も多く穏やかな雰囲気です。またケルン中央駅は交通の便が良く、ベルギーやオランダへ日帰り観光に行くことも出来ます。そんなドイツ・ケルンでの留学生活は私の大学生活における一大イベントとなりました。

まず、学術的に学ぶことの面白さを改めて感じる機会となりました。私は気候変動対策に対する興味から、その政策面への取り組みが進むドイツへの留学を決めました。留学中には、環境政治学や環境経済学、また環境法などの授業を履修して様々な学術的な視点から環境問題について勉強しました。特に興味深かった授業は環境法です。最終のペアワークで行った生物多様性関連の法律における日独比較は、環境分野の観点から日本の政策や国際的立場を客観視する良い機会でした。また大学における勉強以外にも多くの学びがありました。世界中の留学生とのそれぞれの国や地域における環境問題を議論や、環境ワークショップに参加した経験は自分から学びに行くことの大切さを教えてくれました。これからの学生生活においても積極的に課外活動にも取り組みたいと考えています。

また、学生寮（WG）で国籍も性別も年齢も違う人々とのルームシェアは得るものが多かったです。背景の違う人々との生活は配慮もストレスも多く、想定以上に苦労しました。実際、互いの「普通」が異なる中で毎月色々な話し合いを重ねました。しかしだからこそ生まれる絆やお互いの知識を生かした助け合いは何よりうれしく感じ、多様性の良い部分を実感する機会となりました。イタリアのナポリピザとモカ、中国の餃子、アルゼンチンのマテ茶とエンパナダ、ドイツのアップルパイ、トルコの名もなきお母さんの料理。この料理たちと一緒に作って食べながら話す時間が、留学中1番楽しかった時間の1つです。私自身、お寿司やうどん作りをしました。自国の料理を作れると会話の種にもなるので、今後留学を考えている方に料理はおすすめです。

総じてこの留学での学びは何にも代えがたい経験となりました。中央駅は汚めだし、中心部はゴチャゴチャとしているけれど、地元愛強めでフレンドリーな人が多いケルンの街が私は大好きです。沢山の経験をさせてくれたこのケルン留学と支えてくれた家族や周の人々に感謝しています。この経験を活かし、今後も大学での学びに励んでいきます。

## 大学2年生で挑戦した長期留学

イギリス エディンバラ大学

魚山 果穂奈

Uoyama Kahona



私は2023年9月から2024年5月までの約9ヶ月間、イギリスのエディンバラ大学へ交換留学をしていました。大学が所在するエディンバラは、イギリスを構成する4つの国の1つであるスコットランドの首都であり、街全体が世界遺産に登録された歴史的都市です。エディンバラに住んだことは、世界遺産に住むという貴重な経験だけではなく、イギリスという国に属しながらも独自の政治的制度、歴史、文化を持つスコットランドを体験することができました。

交換留学先大学のエディンバラ大学では、専攻である国際関係・開発分野の授業だけではなく、スコットランド美術史やエディンバラの都市計画史などスコットランドの大学でしか学ぶことができない分野についても学ぶことができました。

また、エディンバラ大学で特に感じたトレンドとして「脱植民地化 (Decolonisation)」があり、大学で履修したほとんどの講義において重要な視点として組み込まれていました。例えば「Empire (帝国)」という授業では、英国国内の美術館・博物館は植民地時代の略奪品返還という問題を抱えていることを取り上げ、文化財保護における「脱植民地」の在り方について議論したことは興味深かったです。さらに、このような学問領域において「脱植民地」の視点が重要視される理由として、イギリス社会そのものが求めている「脱植民地」の動きをかなり反映していると

普段の生活を通して感じました。

勉強以外の思い出としては、イギリス国内、海外へ旅行したことです。留学先のスコットランドは若者に対する財政的支援が日本と比較して厚く、交通機関のバスはスコットランド域内で外国人留学生も含めて無料でした。そのため、週末にグラスゴーなどのスコットランド内の各都市を無料で周遊することができました。また各学期の間には長期休暇があり、格安航空券を利用して欧州を中心に15カ国旅行しました。特に印象的だった場所として、国際総合学類同期でドイツへ交換留学中であった友人と行ったドイツ・ドレスデンで、初めて人種差別的対応を店員から受けて、移民増加による右派勢力台頭の状況を肌で感じました。

私は海外留学によってグローバル人材、具体的には①語学力: コミュニケーション能力、②主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感、③異文化理解と日本人のアイデンティティ、の部分で成長させることができたこと認識しています。また、私は大学2年生夏から留学を開始したため、筑波大学復学後の現在は教職課程を履修しながら4年での卒業を目指しています。私の周囲では、長期留学は留年を覚悟しなければならない、教職との両立は無理だという不安を抱えている人が多くいました。そのような学業と留学との両立に不安を抱く人に対しても、筑波大学では十分達成可能であることを伝えたいです。

## 留学のすすめ

ウズベキスタン タシケント国立東洋学大学

吉田 快斗

Yoshida Kaito



私はウズベキスタンの首都タシケントで、タシケント国立東洋学大学に留学しています。8月末に到着し、もう2か月半になろうかというところで、『明日のエグゼクティブ』に載るということです。ここでは私なりに考える留学の魅力や意義をお伝えしたいと思います。一つ目の意義に、やはり語学の習得があります。日本でも語学勉強はできますが、実際にその言語が使われている環境に身を置くことで勉強もはかどりますし、何よりアウトプット（主にスピーキング）の機会が絶えずやってきます。私は現在おもにロシア語で生活していますが、通じる・自然な表現というものには実際に話してみないと分からないものです。またロシア語でロシア語の授業を受けていますが、日本の参考書には無い視点で、よりネイティブな（とすると正しい）表現を学ぶことが出来ます。二つ目に、当たり前ですが実際にその外国を見て体感できるという魅力があります。地図や写真、人づての話からだけではとても感じられない「異国」が確かにあると思います。私の専攻が都市計画なのも関係はしているかもしれませんが、現在ウズベキスタン歴史都市の形成史や計画史を主に研究しているのですが、実際に自分の脚で歩いてみたいと気づけないことがたくさんあります。道の歩きやすさ、カフェの屋外テラスで過ごす時間の心地よさ、入り組んだ旧市街の迷路のような感覚、お店の入りやすさ、ロシア帝政期の

建築群が並ぶ路の眺め、場所によって異なるウズベク語とロシア語の聞こえてくる割合、都市を潤すアンホール運河の美しい水面。日常のふとした散歩が思わぬ気付きや好奇心につながることもあります。三つ目の意義には、現地の人との交流があります。ウズベキスタンの人々は日常でのあいさつをととても重要視しており、女の人同士であればハグ、男の人同士であれば、道端で少し会っただけでも必ず握手を伴って挨拶し、お互いの調子などについて2、3の質問を交わします。外国人（例えば我々日本人）に対しても臆せず近づいてきて、仲良くなろうとしてくれます。もちろん人による違いもありますが、現地での交流を通じて、ウズベキスタンの築いてきた多民族国家ならではの開放性のようなものを肌で感じています。またウズベキスタンは1991年までソビエト連邦の構成共和国でしたが、人々との会話を通じて、若い世代と老年の世代で明らかに「ソビエト連邦」への印象に違いがあることも解ってきました。

留学を考えるに際し金銭面での不安もありましたが、給付型奨学金を取得したことでだいぶ負担を軽減できました。まだ留学中ですが、この留学はきっと一生にわたって大事な経験になるだろうなと思っています。来年七月の帰国まで、精一杯やりつくします。



## 06 ボランティア・インターンシップ体験記

### 自分にできる事

#### 袴田 裕菜 Hakamada Yuna



私は、インドワークキャンプ団体namaste! というサークルに所属しています。namaste! は、ハンセン病の差別問題解消を目指して、インドと日本で活動をする団体です。

みなさんは、ハンセン病について知っていますか？ ハンセン病は、感染症の一つで、主に皮膚と神経が侵され、後遺症として手足が変形してしまうなどの症状が出る場合があります。感染力は非常に弱いにもかかわらず、人々の無知と体の一部が変形するといった目に見える後遺症が残る場合があることから、ハンセン病患者・回復者の方々は世界各地でひどく差別を受けてきました。私たちnamaste! は、その中でもハンセン病新規感染者が最も多い、インドという国に焦点を当てて活動をしています。

インドでは、ハンセン病回復者の方とその家族が暮らすコロニーを訪問し、村の方々と共に時間を過ごします。そして、支援者と被支援者ではない“あなたとわたし”という対等な関係性を築くため、「ワークキャンプ」という活動を行っています。

このように書くと、なにに私たちができる大きなことをしているように聞こえるかもしれませんが、ですが、実際には私たちにできることはとても小さいです。私は、これまでに3回インドに渡航しました。自分も誰かの支え

になりたい！自分にできることをしたい！という思いを持ってインドに行きますが、毎回、明るく、強く生きる村人から逆に大切なものをもらって帰ってきます。自分には何ができたのだろう、誰かの力になれたのだろうか、なにが正解なのだろう、そんなことをいつも考えます。自分が小さく、情けなく思えてしまうこともあります。そんなときはいつも村人がくれた言葉を思い出します。

“namaste! が来てくれるようになってから、この村は変わった。周りからの目も変わった。

namaste! は家族みたいな存在なんだよ。来てくれるだけでうれしいんだよ。”  
できることが小さかったとしても、絶対的な正解がなかったとしても、なにかしたいとあきらめずにもがき続けること、自分たちなりに考え続けることが大切だと思っています。そしてそれが、私にできる最大のことだと思っています。

私は、この団体に入らなければ出会えなかった人々に出会い、知ることができなかった世界を知ることができました。この経験は、自分にとって、これまでにないほど大きなものだと思います。これからも、すべての人との出会いを大切に、もっとたくさんを知りたいです！

### 宇宙での大きな挑戦

#### 寺田 胡桃 Terada Kurumi



私は大学1年次の9月から、JAXAが出資するベンチャー企業「株式会社天地人」にて事業開発・広報のインターンシップをしています。JAXAの知的財産や衛星データをはじめとした宇宙ビッグデータを使い、地球規模の環境問題や社会課題の解決を目指しています。筑波大学の「次世代起業家養成講座」という授業での縁をきっかけにジョインし、ポジションに応じた幅広い仕事を担当してきました。

事業開発では現在、東南アジアの水道事業や再生可能エネルギーの課題に取り組んでいます。2024年10月からマレーシアに交換留学をしており、それに伴いインターンシップにも積極的に関わっています。産官学の連携や新規事業参入を現地で目にする経験は、日々の私の成長に繋がっています。

広報では、イベントの運営や企画、展示会での接客、記事執筆を主に担当しています。文章能力やPRの魅せ方など、事業を支える広報としての学びを多く得ています。また、登壇という貴重な経験も積ませていただき、JAXA職員の方と衛星データの可能性や、Z世代から見た宇宙の仕事について対談をしました。

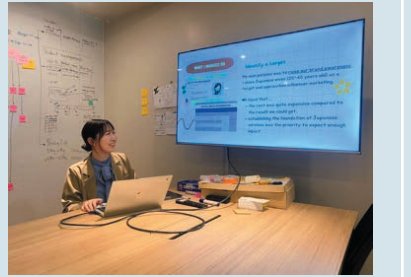
入社当時から、宇宙ビジネスの存在や地球規模課題への貢献を知り、

宇宙の視点から課題を解決するという仕事を心から誇りに思っています。「文系出身で国際総合学類に所属しているのになぜ宇宙なのか。元々宇宙が大好きなのか。」と感じる方も多いかもしれませんが、全くそんなことはありません。環境問題に関心があり、その効果的な解決策として宇宙ビッグデータビジネスに惹かれた。そんな単純な理由で始めました。もちろん知識のインプットは最初は大変でしたが、好奇心が止まらないのでこのインターンシップに非常にやりがいと楽しさを感じています。この素晴らしい環境を通して、新規事業をしていく上でのスピード感と積極性の大切さを特に学びました。「匂を逃さない」という言葉をよく社内で言われており、大きなチャンスや流れを逃さないように日々情報収集やコミュニケーションをとっています。もちろん学業や留学、就職活動の両立と大変なときもありますが、その中で時間を効果的に使う方法や、やり遂げる力を学ぶことができると感じています。

最後に、天地人でのインターンシップを通じて「デジタルを活用して地球を住みやすくしたい」というビジョンが私の中で形成されました。今後もインターンシップや将来の仕事などを通して、このビジョンに少しでも貢献できるよう行動をしていきたいです。

### 自己の成長を求めて

#### 高荒 夏帆 Takaara Natsuho



私は大学3年生の夏休みを利用し、タイ・バンコクにある「MedPark Hospital」にて約1ヶ月半のインターンシップに取り組みしました。何か新しい知識や経験を得たいと考えていたところを、知人に紹介していただき参加を決意しました。学生ながら、非常に広範囲の業務に携わることができ、充実した1ヶ月半を過ごせたと自信を持って言える、そんな機会になったと考えています。

当初の業務内容としては、病院における日本人来院者数を増加させるためのマーケティングが想定されていました。しかし、実際には日本語版リソースの作成に重点的に取り組みました。この背景には、日本人のニーズを経営陣が深く理解していないという問題がありました。バンコクでの病院選びの際に、タイ人は医師の知名度や治療の質を優先する一方で、日本人はそれ以上に充実した日本語サービスを優先するということがタイ人の上司や日本人患者との対話により明らかとなりました。

そこで、本来の目的を達成するための一歩として、日本語対応の基盤作りに尽力しました。具体的には、日本語版のパンフレットやWebサイトを作成し、それを日本人のコミュニティーへ周知するということを担当しました。中でも、疾患やその治療に関する文章を日本語へと翻訳する作業に熱意を持って取り組みました。扱う内容の特性上、ただの翻訳では難しく堅苦し

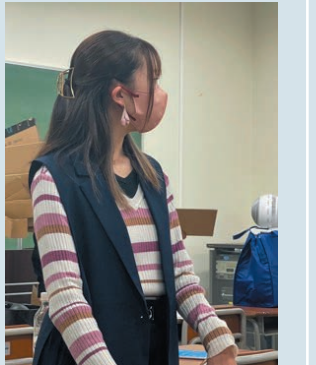
い文章となってしまうことが課題でした。そのため、まずは自ら疾患や治療について調べることで理解を深めました。そして、人々に安心を与えられる文章とするために、情報の正確性を保ちつつ、日本人に馴染みのある言葉を用いるということに検討を重ねながら業務を進めていきました。

これと並行して、戦略を立てるための分析も行なっていました。具体的にはSWOT Analysisを用いて自院と競合他院を比較することで、どの層にどんな商品をどんなアプローチで売り出すのかというのを考え、上司に提案していました。また、それを実現するために病院の代表として日系企業や外部団体との関係作りにも携わりました。

結論として、私はこのインターンシップで「主体性」「コミュニケーションスキル」を養うことができたと考えます。これらの幅広い業務をこなすためには、他部署の方々との連携が必要不可欠であり、自ら考え行動に移さなければなりません。苦労する場面も多々ありましたが、この経験は私を大きく成長させてくれたと今では感じています。未経験者の私に、同じくらの熱意をもって接してくださった MedPark Hospital の皆様には深く感謝しています。今後は、周りの人々へ手を差し伸べ、チームを支えられる存在となるようにより一層励んでいきたいです。

### 自分のために、誰かのために

#### 善家 綾音 Zenke Ayane



私は一年生の頃から、STUDY FOR TWO筑波大学支部にて、教育に関わるボランティア活動に携わってきました。STUDY FOR TWO (通称：SFT) は、全国の34大学に支部を持ち、「勉強したいと願うすべての子供たちが勉強できる世界に。FOR ME, FOR TWOのボランティアが身近になる世界に。」をテーマに掲げています。大学生から使い終えた教科書を寄付していただき、それを安価で再販売することで得られた利益を、開発途上国の子どもたちの教育支援に役立てています。例えば、SFTを通じて1000円の教科書を購入していただいた場合、それは、タンザニアに住む子ども1人に1週間の教育を届けることに繋がります。

私がこの団体に入ったきっかけは、「大学生としての学生生活の中で、国際ボランティアに関わる経験が欲しい」というほんの些細なものでした。複数の国際ボランティア系の新歓に参加した中で、SFTの「支援される人たちだけでなく、支援する側にも利益が出る仕組み」や「自分たちのための活動が、誰かのためにもなる」という特徴に惹かれ、所属を決めました。SFTの活動は、間接的に途上国への教育支援を行うという形で、当初私が想定していたボランティアの形とは少し異なるものでした。私たちの活動の

目的は、使用されなくなった教科書を安価に再販売することで日本の大学生に支援を行い、さらに、そこで得た利益を途上国における教育支援に充てることです。そのため、より多くの寄付冊数や利益を得ることが手段として必要となります。何が目的で、何が手段なのか、定期的に行われるミーティングで目標とその達成のための過程について何度もすり合わせました。このような経験は、SFTに所属して初めて得られたものだと感じています。

また、SFTでの活動は、「誰かのため、何かのために、自分の時間や労力を捧げる」という私が一般的と感じていたボランティア像を変える機会にもなりました。前述の通り、「FOR ME, FOR TWO」を活動理念の一つに掲げるSFTは、「自分たちのための活動が、誰かのためにもなる」という新たなボランティアの形を示してくれました。そして、異なる考えや理想を持つ人々が集まり、共通の目的のもとで協力することの意義を学びました。

これらの経験や学びは、STUDY FOR TWOでの活動・支部員との出会いが大きな影響を与えています。与えられた貴重な経験や人とのつながりに感謝しつつ、残りの時間も自分にできることを模索し、日々邁進していきます。



教室の外に学びがある

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授  
主著として『タイ山地―神教徒の民族誌』（風響社、2007年）  
『はじめての東南アジア政治』（有斐閣、2018年）など。

片岡 樹 (1991年3月卒業)  
Kataoka Itsuki

5期生の片岡です。私は今、京都大学の大学院で、東南アジア研究を専門とする大学院生たちに教える仕事をしています。大学院生を相手の教員となると、教えるという言葉の語感が薄まってきて、学生たちが自分で行う研究の相談相手になる、という方が現実になくなってきます。いま自分が教えている大学院には、実にいろんな研究をする学生たちがいます。もともと地域研究を掲げて、東南アジアに興味さえあれば分野を問わない、という組織なので、教員も研究も専門の範囲は千差万別です。そこで他分野の人たちとの会話になんとかついていけているなあ、と感じるときに、筑波での経験を思い出します。

私はいま、いちおう文化人類学者ということになっています。当時の国際関係学類の開講科目は、国際政治、比較政治、外交史、国際法などの分野が主流で、自分自身の関心も東南アジアの政治でした。文化人類学の先生はおらず、東南アジアの専門家も言語学者一人だけという状態でした。いまの国際総合学類には、そうした分野の先生たちがたくさんいるのをみて羨ましく思います。

ようするに私が今やっている学問については、国際関係学類の中ではほぼ学ぶ機会がなかったということになります。大学院に入ってから専門を大きく変えたわけですが、そのおかげで今の専門からは見えない景

色を国際関係学類時代にたっぷり見ることができました。それが今でも自分自身の燃料源になっていることをときどき実感します。

国際関係学類の当時のカリキュラムとは違う分野で専門家になったということは、教室の外での学びが大きかったということでもあります。当時の筑波大学は、学生たちのほとんどが宿舎か近くのアパートに住んでいたので、4年間ずっと修学旅行をしているような気分でした。誰かの部屋をたまり場にして夜な夜な酒を飲んだり、授業に行こうとしたら第三学群喫茶室で仲間につかまってそのまま授業をサボってしまったり、図書館前の芝生の斜面でごろ寝していたら仲間たちが三々五々集まってきてそのまま夕方まで過ごしてしまったり、今思い起こせば決して優秀な学生ではありませんでした。ですがその分、教室の外でのコミュニケーションから実に多くのことを学び、そのおかげで今の私がいます。これは劣等生のすすめになってしまいますが、みなさんもなるだけ教室の外で、今のうちに少しでも多くの景色を見ておいて下さい。いつか役に立つ日が必ず来ます。



最近是国内の調査にもハマっています

どんな道に進んでも

リアルメディアの企画・運営

松浦 琴里 (2023年3月卒業)  
Matsuura Kotori

「リアルメディア」という言葉に惹かれて入社し、新潟県南魚沼市に移り住んで早や3年。筑波大学で出会った多くの友人・先輩・後輩が東京で会っている様子を見ると少し羨ましくなるときもあるが、私はここでの生活や仕事に気に入っている。というか、性に合っているな～と感じる。

そもそも「リアルメディア」とはなんなのか。私はメディアで働いているが、同時に宿泊施設でも働いている。「伝えたいこと・伝えるべきこと」をリアルな場で直に発信する、そのツールとして宿泊施設を運営しているというイメージだ。それを、南魚沼という地方でやっている。「国際社会に出て、こういことがしたい!」という目標を胸に国際総合学類に通い始めたが、大学での学び・生活を通じて、私は日本の地域活性に視点を置くようになった。南魚沼には縁もゆかりもない私だが、山々に囲まれ、日々移り変わる自然を体感しながら過ごす中で、多くの人にこの土地の魅力を感じてもらいたいと思う気持ちが強くなった。地域の方と一緒に、地域を守るための企画・運営を行う、それが今の私の仕事だ。

今私がメインで担当しているのは、古民家一棟貸切型ホテルの運営。貴重な雪国の古民家を後世に残すプロジェクトだ。この運営を集落の方と一

緒に行なっている。もちろん集落の方に受け入れられないこともあるし、難しいことも多いが、集落の自慢となり、集落の方だけで運営が成り立つようなホテルを作るべく日々奮闘中である。

ここまで聞くと国際総合学類とはまったく関係がなさそうな仕事だが、分野は違えど、国際での学びが思いもよらぬ形で役に立つこともあるから面白いな～と思う。何がどう生きるかは、自分の活かし方次第というか、面と向かって学んだことは消えないのだと思う。

最後に、社会人になり、辛いこともあるだろうけど、つくばでの生活は本当に心の支えになります。つくばでの生活、筑波大学で学んだこと、出会った人、すべてが価値のあるものだと思えてから改めて感じます。筑波大学の人って、個性的で自分の軸を持っていてカッコいい人が本当に多いな～と思うし、そういう、自分の生き方を認めてくれる環境ってすごくラッキーだなと思います。これからそれぞれの道に進んでも、たま～につくばに帰ってきて、また頑張ろう!と励まし合っていきましょう。

そして、ぜひ美しい南魚沼に遊びにきてください!!!



南魚沼といえば！  
毎年恒例の田植えイベント

「いま」を大切に、たくさん「旅」を

朝日新聞東京本社  
ネットワーク報道本部記者

石川 瀬里 (2007年3月卒業)  
Ishikawa Seri

国際総合学類を2007年に卒業し、朝日新聞社で記者をしています。初任地の青森県では北朝鮮から木造船で脱北してきた親子を追い、東京本社の社会部ではオウム真理教の一連の裁判を担当しました。罪と罰について考えさせられ、イタリア・ミラノの開放型刑務所に取材に行ったこともあります。物事を多角的に見る、常に興味を持って挑み、調べてみる。これら「好奇心の体力」は、大学時代に鍛えてもらってものだと思います。

私が国際的な問題に興味を持ったのは、自分と同世代の子どもたちが飢餓や紛争で苦しんでいることを伝える本などの影響でした。ある本の後書きに「まずは、この現状を知って欲しい。考えて欲しい」とあったのを覚えています。自分も伝える側になりたいと思いを募らせ、多角的な視点で学べると感じた筑波大学を志望しました。

大学は、自分が予想していたよりもはるかに多様な学びと刺激がありました。著名な先生方をはじめ、様々なバックグラウンド、国籍、興味をもった仲間に触発されました。マルタ共和国に語学留学し、リュック一つで世界各国を旅しました。

また、筑波大学新聞の編集委員として、五輪選手や芸術家、ボランティアサークルの取材・執筆、紙面編集も担当しました。当時の編集委員長

は毎日新聞で記者をされていた嶺隆教授。締め切り間際は徹夜作業になり、新聞をかぶって寝たことや、嶺先生が買ってくれた牛丼の味は今も忘れられません。あのとき、取材の面白さや難しさ、伝えることの喜びを覚えてもらったと思います。

第2外国語でスペイン語を履修していたことは、子育てで大変役に立ちました。夫の転勤（国際の1学年上の先輩です）で、生後3カ月の長女を連れてメキシコで約3年間、子育ても経験しました。メキシコ国内はもちろん、キューバやコスタリカ、パタゴニアなど毎週末のように家族で旅しました。現地の方と子育てや政治についてスペイン語で熱く語り合ったのも貴重な経験でした。

最近になって、バラバラだった点が、後々つながって線や絵になるような感覚を持つことが増えました。学生みなさんは、「今、そのとき」をどうか大切にしてください。結果を求めすぎず、自分の興味関心の赴くままに自由にあちこちを「旅」してください。大学には、みなさんの選択肢の幅を広げる様々な機会があります。どうか、楽しんでください。みなさんのチャレンジを応援しています。



家族で訪れたパタゴニアのバイネ公園

悔いなく「今」を全力で楽しむ

航空輸入通関カスタマーサービス

品川 静 (2024年3月卒業)  
Shinagawa Shizuka

国境を越えた貨物の輸送を支える国際物流業界・フォワーダーへ就職し、航空輸入に携わっています。「国際物流」は、実は世界経済を縁の下で支えている仕事です。

例えば、新規貨物の出荷情報を現地法人から受け取ると、日本到着後の輸入通関・配送の準備を進めていきます。通関では税関に正確な輸入申告を行う必要があるため、事前に製品詳細や必要書類を確認・入手します。配送では、物量に合わせたトラックを手配し、依頼通りの納品を目指します。フライト遅延等のイレギュラーも日常茶飯事で、手配時の注意点は多岐に渡ります。社内外の多様な部署・時には航空会社や空港、運送会社などとコミュニケーションをとり、確認事項を丁寧にクリアし、スピーディーかつスムーズにお客様の希望通りに納品し、「緊急品でしたが、お陰様で生産できます」と感謝の言葉をいただいた時は、大きなやりがいを感じます。

世界情勢の影響をダイレクトに受け、365日世界との繋がりを感じられる仕事であると共に、かなりの専門的な知識が必要とされるので、日々新しい学びを得られるところも面白いです。とはいえ私もまだまだ社会人1年目、日々勉強中です。今は通関士という国家資格の取得を目指しながら様々な実務経験を積み、数年後には海外法人で活躍するのが目標です！

卒業後国際物流の世界に飛び込んだ私ですが、在学期間から国際貿易や経済のことを勉強していたわけではありません。留学を含めた5年間の在学期間を振り返ると、その時々で自分が興味をもっていたことに全力投球してきました。

入学時途上国の開発に興味があった私は、スポーツでカンボジアの国際協力に携わる学生団体に入り、現地のニーズは何か・日本から学生として何ができるかを日々考えながら活動していました。実際にカンボジアに行って現地の子供たちと交流できたことは、自分の中で大きな思い出です。

また、コロナを経て在学後半には留学先が韓国に決まり、現地の語学堂で0から韓国語の勉強に励みました。留学を通して、韓国だけでなく様々な国からの学生と交流し、今でも連絡を頻繁に取り合う（もちろん共通言語は韓国語）友人ができたことは、人生の財産です。

将来に確約されたことなど1つもないので、あまり恐れずにやりたいことに全力で取り組んで欲しいと思います。全力投球を続けることで、自分の進みたい道が急に見つかるかもしれませんし、何事もやりきったという自信が次のステップへ励む大きなモチベーションになるはずです。大丈夫です。国際総合学類には自分の興味に夢中になれる環境があり、仲間が沢山います！



第2の母校・交換留学先の韓国外国語大学にて



08 学生紹介

①出身校 ②出身地 ③ゼミ ④人生の目標 ⑤将来やりたいこと ⑥国際総合学類で得たもの



- ①福島県
- ②磐城高校
- ③白川直樹ゼミ
- ④水のエキスパートになる!
- ⑤琵琶湖一周したい
- ⑥大切な仲間と将来の方向性



- ①愛知県
- ②千種高校
- ③外山ゼミ
- ④長生きして良い気持ちで死ぬ
- ⑤F1レーサー
- ⑥まともな倫理観



- ①東京都
- ②帝京大学高校
- ③タック川崎ゼミ
- ④曲を出す
- ⑤自分の部屋を漫画でいっぱいにする
- ⑥日本を世界と比較する楽しさ



- ①東京都
- ②都立武蔵高等学校
- ③白川ゼミ (『川と人』ゼミ)
- ④幸せに暮らすこと
- ⑤スカイダイビング
- ⑥やりたい事を見つける時間



- ①愛知県
- ②旭野高校
- ③外山ゼミ
- ④日本の全市町村踏破
- ⑤スキューバダイビング
- ⑥良き仲間



- ①大分県
- ②大分県立大分上野丘高校
- ③井出ゼミ
- ④世界中の友達を作る(現在94/195ヶ国)
- ⑤飛行機を使わず、世界一周
- ⑥世界に関連した幅広い学問分野が学べる



- ①神奈川県
- ②桐蔭学園高等学校
- ③白川ゼミ
- ④幸せに暮らす
- ⑤パンジー / スカイダイビング
- ⑥柔軟な考え方



- ①茨城県
- ②茨城県立並木中等教育学校
- ③内藤ゼミ公共・実証経済学
- ④綺麗な海の見える家に住む
- ⑤潜水艇で深海に行く
- ⑥行動力



- ①東京都
- ②獨協高校
- ③黒川ゼミ
- ④幸せに生きる
- ⑤最高の食と睡眠を追求すること
- ⑥海外がより身近になったこと



- ①茨城県
- ②常磐大学高等学校
- ③関根ゼミ文化人類学
- ④主人公になる
- ⑤世界一周
- ⑥高め合える友達



- ①愛知県
- ②旭丘高校
- ③内藤ゼミ計量経済学
- ④常に「今」が最高の人生を送ること
- ⑤世界一周
- ⑥国境を越えた視野や友達!



- ①茨城県
- ②竹園高校
- ③外山ゼミ
- ④人種や国境を越えて人を笑顔にすること!
- ⑤ヨーロッパに旅行
- ⑥様々な授業単位とコミュニケーション能力(留学生と話す機会がたくさんある!)



- ①兵庫県
- ②兵庫県立芦屋国際中等教育学校
- ③中野ゼミ
- ④カッコいい女になること
- ⑤国際機関で働く
- ⑥最高の仲間!



- ①東京都
- ②東京学芸大学附属国際中等教育学校
- ③東野ゼミヨーロッパ国際関係
- ④豊かに生きる!
- ⑤世界一周旅行
- ⑥努力家で優しくて刺激をくれる同期に出会えたこと



- ①大分県
- ②大分豊府高等学校
- ③井出ゼミ
- ④日々の生活に幸せを感じながら生きる
- ⑤世界一周クルージング
- ⑥ライオンを赤ちゃんの時から飼う
- ⑥幅広い視野と強靱な精神



- ①東京都
- ②都立小石川中等教育学校
- ③寺内ゼミ
- ④後悔なく生きる
- ⑤世界一周クルージング
- ⑥グローバルな視点



- ①東京都
- ②都立国分寺高校
- ③奥島ゼミ環境経済学
- ④人との縁を大切に生きる
- ⑤まちづくりに関すること
- ⑥色々な価値観があることを知ろうとする力



- ①千葉県
- ②東京学館浦安高等学校
- ③毛利ゼミ
- ④嫌な大人にならない
- ⑤人の役に立つこと
- ⑥人間力



08 学生紹介

①出身校 ②出身地 ③ゼミ ④人生の目標 ⑤将来やりたいこと ⑥国際総合学類で得たもの



- ①東京都
- ②私立江戸川女子高等学校
- ③毛利ゼミ
- ④幸せな家庭を築くこと
- ⑤いるかと海を泳ぐこと
- ⑥広い興味・関心



- ①青森県
- ②三沢高校
- ③森林文化ゼミ
- ④自分らしく生きる
- ⑤ウルトラトレイル完走
- ⑥行動力



- ①茨城県
- ②水城高等学校
- ③寺内ゼミ
- ④やりたいことをやってみる
- ⑤世界の色んなところに行ってみたい
- ⑥沢山のひとと関わることの楽しさ



- ①茨城県
- ②竜ヶ崎第一高等学校
- ③毛利ゼミ
- ④大往生
- ⑤全国グルメ旅
- ⑥広い心



- ①愛知県
- ②松蔭高校
- ③中東政治ゼミ(佐藤ゼミ)
- ④年2で海外旅行いける財力と時間
- ⑤オランダに移住したい
- ⑥挑戦する勇氣



- ①愛媛県
- ②愛媛県立宇和島南中等教育学校
- ③吉田ゼミ国際法
- ④今あるものを大切にして生きる
- ⑤家族に海外旅行をプレゼントすること!
- ⑥一つの物事にとらわれない視点



- ①東京、都立町田高校
- ②吉田ゼミ
- ③悔いのないように生きること!
- ④百名山を制覇する
- ⑤個性的な人達と会う機会



- ①東京都
- ②都立白鷗高校
- ③森林文化ゼミ
- ④常に自分で選択して進んでいくこと!
- ⑤海外赴任
- ⑥いつでも助け合える友達



- ①東京都
- ②国立高校
- ③毛利ゼミ
- ④自分なりの幸せを見つけること
- ⑤中国へ安心して旅行に行けるようにすること
- ⑥様々な知見



- ①新潟県
- ②国際情報高校
- ③日高ゼミ
- ④自分と周りの人を幸せにすること
- ⑤服の大人買い
- ⑥サイコーの友だち



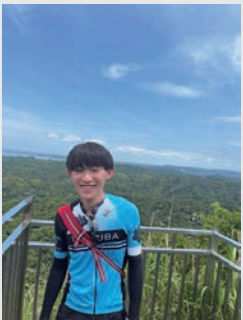
- ①愛知県
- ②時習館高校
- ③関根ゼミ
- ④かわいくてやさしいおばあちゃんになること
- ⑤世界一周旅行!
- ⑥あたりまえを疑うことができる考え方



- ①茨城県
- ②つくば秀英高校
- ③寺内ゼミ
- ④思うままに生きる!
- ⑤航空機の操縦
- ⑥チャレンジ精神



- ①北海道
- ②北海道函館中部高校
- ③レスリータック川崎ゼミ
- ④愛し愛される人であること
- ⑤世界中の絶景スカイダイビング!
- ⑥賢く美しい生涯の友♡my besties♡



- ①埼玉県
- ②さいたま市川越東高校
- ③寺内ゼミ
- ④エディレッドメインと英語で会話すること
- ⑤自転車でヨーロッパを旅する
- ⑥チャレンジ精神



- ①東京都
- ②東京都立小松川高校
- ③関根ゼミ
- ④挑戦を楽しめる人であり続ける
- ⑤世界一周旅行
- ⑥新しいことに挑戦できる行動力



- ①福島県
- ②磐城高校
- ③国際法ゼミ (吉田ゼミ)
- ④生涯健康
- ⑤温泉巡り
- ⑥大切な友人



- ①千葉県
- ②日本大学習志野高校
- ③内藤ゼミ
- ④毎日がビックニュース
- ⑤子育て
- ⑥切磋琢磨できる仲間と尊敬する先生



- ①千葉県
- ②千葉県立小金高等学校
- ③内藤ゼミ計量経済学
- ④自分らしい豊かな生活を送ること
- ⑤ヨーロッパ旅行
- ⑥数学力



08 学生紹介

①出身校 ②出身地 ③ゼミ ④人生の目標 ⑤将来やりたいこと ⑥国際総合学類で得たもの



- ①茨城県
- ②水戸第一高校
- ③井出ゼミ
- ④誰かの役に立つ人間になる
- ⑤スイスで暮らす
- ⑥幅広い知識、尊敬する友達



- ①神奈川県
- ②東京農業大学第一高校
- ③吉田ゼミ
- ④夢を持ち続ける
- ⑤カッパドキアで気球に乗りたい!
- ⑥この先一生付き合うであろう友達



- ①神奈川県
- ②県神奈川県立厚木高等学校
- ③亀山ゼミ
- ④自分の強みで社会貢献をする
- ⑤宇宙旅行
- ⑥幅広い考え方



- ①広島県
- ②広島皆実高校
- ③内藤ゼミ
- ④フルスピードで走る
- ⑤世界一周、スカイダイビング、飛行機のライセンスをとるetc...
- ⑥最高の友人



- ①埼玉県
- ②埼玉県立浦和第一女子高校
- ③大友ゼミ国際関係学
- ④誇りを持って生きる
- ⑤バーテンダー
- ⑥将来の目標



- ①大阪府
- ②高津高校
- ③佐藤ゼミ 現代中東政治
- ④柔軟性のある人間になる
- ⑤全国の水族館を制覇する
- ⑥広い視野と友人



- ①岐阜県
- ②大垣北高校
- ③松島ゼミ
- ④今を楽しむために最善を尽くせる人になること!
- ⑤オリンピックに携わる。
- ⑥尊敬できるスーパーポジティブな友達たち。



- ①新潟県
- ②魚沼市国際情報高校
- ③日高ゼミ
- ④悔いのない人生を送る
- ⑤イギリスでサッカー観戦
- ⑥自分のやりたいことを見つけられた



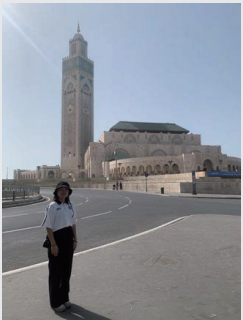
- ①宮城県
- ②宮城県名取北高等学校
- ③SeNSESeminar
- ④かわいいおばあちゃんになる
- ⑤定年退職して友人とカフェ経営
- ⑥多角的な視点から物事を検討する力



- ①神奈川県
- ②湘南高校
- ③井出ゼミ
- ④探し中
- ⑤バンジージャンプ



- ①茨城県
- ②水戸第一高等学校
- ③関根ゼミ
- ④幸せに生きる
- ⑤世界一周旅行
- ⑥おともだち!



- ①京都府
- ②京都市立堀川高等学校
- ③都市文化共生ゼミ(松原ゼミ)
- ④世界平和
- ⑤自分の言葉を通して、誰かを救うこと
- ⑥国境を超えることへの自信と自由な感覚



- ①東京都
- ②白百合学園中学高等学校
- ③国際法ゼミ
- ④一生懸命
- ⑤人とのご縁をより大切に・自分がデザインしたものをいつか販売したい
- ⑥学問の軸を「国際社会を知ること」に置いた上で、多方面に学びを広げていく楽しさ



- ①東京都
- ②八王子東高校
- ③大友ゼミ
- ④たくさん思い出せる
- ⑤砂漠に行ってみたい
- ⑥一緒に頑張れる仲間



- ①福島県
- ②いわき市磐城高等学校
- ③松原康介都市計画ゼミ
- ④地元で貢献する
- ⑤地元の駅前にカフェ & バーを開く
- ⑥友人、数え切れないほどの新たな知見



- ①神奈川県
- ②多摩高校
- ③藤澤ゼミ
- ④人として強くなること
- ⑤海外に住むこと
- ⑥大学の厳しさ



- ①神奈川県
- ②西湘高校
- ③森林文化ゼミ
- ④ずっと笑って暮らせること
- ⑤世界一周
- ⑥たくさんの出会い!



- ①福島県
- ②白河高校
- ③岡ゼミ
- ④ちょっとずつ恩返し
- ⑤スカイダイビング
- ⑥友情



08 学生紹介

①出身校 ②出身地 ③ゼミ ④人生の目標  
⑤将来やりたいこと ⑥国際総合学類で得たもの



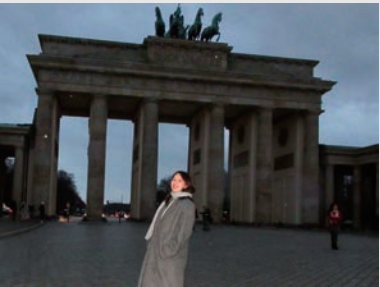
①茨城県  
②東洋大学附属牛久高校  
③黒川ゼミ  
④自分が生きた証を残す  
⑤本を出版する  
⑥なんとかなる精神



①鹿児島県  
③都市文化共生計画研究室  
④自分も幸せで、周りの人も幸せにできる人  
⑤農業  
⑥自分が今まで出会わなかったような素敵な人たちと沢山出会えました！



①沖縄県  
②球陽高校  
③中野ゼミ・経済  
④海辺の家に住む  
⑤大人買い  
⑥友だち



①茨城県  
②芝浦工大柏高校  
③松原ゼミ  
④社会に貢献する  
⑤スカイダイビング  
⑥新しい目標や知見、経験



①東京都  
②都立駒場  
③ウェブサイエンス研究室  
④濃い人生にする。  
⑤会社経営  
⑥広い視野



Column

卒業生の進路情報（令和6年度）

| 卒業者数 | 就職者数 | 進学者数 | その他 |
|------|------|------|-----|
| 83   | 55   | 17   | 11  |

主な就職先一覧

公務員

総理府 公安調査庁  
在ルワンダ日本国大使館長野県庁

航空・運輸・物流

株式会社 JAL スカイ  
株式会社近鉄エクスプレス

不動産・建設

阪急阪神不動産株式会社  
大和ハウス工業株式会社

コンサルティング・シンクタンク

PwC コンサルティング合同会社  
有限責任監査法人トーマツ

金融・証券・保険

株式会社大分銀行株式会社伊予銀行  
株式会社 M&A 総合研究所

教育・出版・メディア

株式会社ベネッセコーポレーション  
株式会社宮城テレビ放送

人材・採用・HR

株式会社ジェイエイシーリクルートメント  
株式会社ビズリーチレバレッジズ株式会社

メーカー・製造

東レ株式会社スズキ株式会社  
ソニーグループ株式会社  
日鉄エンジニアリング株式会社  
JFE エンジニアリング株式会社

IT・通信

NEC プラットフォームズ  
日本マイクロソフト株式会社  
アマゾンジャパン株式会社  
株式会社サイバーエージェント

主な進学先一覧

筑波大学  
SOAS University of London MA International Law  
お茶の水女子大学ジェンダー社会科学  
University of CaliforniaInternational Affair



## 09 Campus Life





